



《大津》部分

# 狂歌入東海道

後期 江戸の遊び心  
8/3(水) ▼ 10/30(日)

あつり合の  
ちのうたの  
そらもの  
やまご拾も  
くせり  
梅の門  
鬼丸

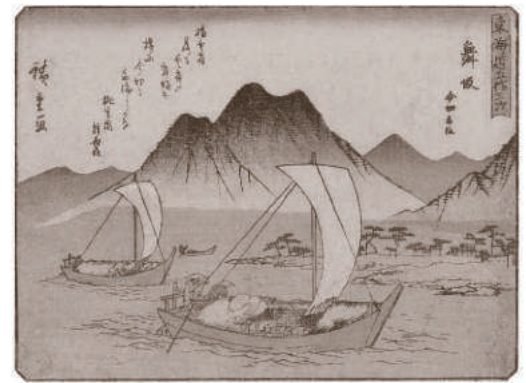
歌川広重は東海道を最も多く描いた絵師であり、その数は20種類以上にのぼるといわれています。本展では、画中に狂歌(江戸時代に特に流行し、洒落や風刺をきかせた短歌)が記されることから「狂歌入東海道」と呼ばれる《東海道五拾三次》をご紹介します。広重が40歳代に手がけた本シリーズは全56点からなる揃物で、細やかに描かれた宿場の様子や柔らかな色調が魅力です。狂歌には、宿場の名所や名物が掛詞を巧みに用いてユーモアたっぷりに詠まれており、江戸っ子たちの心意気を身近に感じることができます。後期は見附から終着点・京都までの旅路をご案内いたします。狂歌とともに広がる東海道の旅景色を、どうぞご堪能ください。



すべて歌川広重  
《東海道五拾三次》  
天保(1830~44)末期頃  
横中判錦絵



《桑名 富田立場之図》



《舞坂今切舟渡》



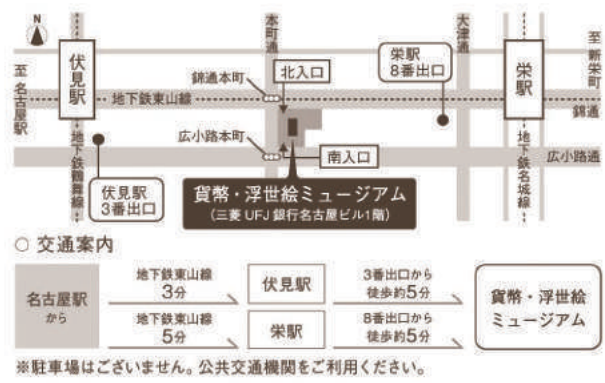
《藤川》

### 狂歌入東海道

「狂歌入東海道」は、広重の代表作「保永堂版東海道」から後、版元・佐野屋喜兵衛から刊行されました。東海道の53の宿場に、出発点の日本橋と終点の京・三條大橋、更に大尾として内裏の図が加えられ、通常の東海道揃物より1枚多い56枚揃です。狂歌には、旅の意気込みや風情、宿場名や付近の名勝・名物が、江戸っ子らしい楽しく機知に富んだ感性で詠われています。判型は大判より小さな横中判ですが、精緻な筆致と柔らかで穏やかな色調が味わい深いシリーズです。

## 貨幣・浮世絵ミュージアム MONEY & UKIYO-E MUSEUM

- 開館時間 | 9:00~16:00 (入館は15:30まで) ● 休館日 | 祝日(8/11, 9/19・23, 10/10)
- 入館料 | 無料 (団体見学の方は事前にご連絡ください)
- 所在地 〒460-8660 名古屋市中区錦3-21-24 三菱UFJ銀行名古屋ビル1階
- TEL 052-300-8686 ○ ホームページ <https://www.bk.mufg.jp>



※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

次回予告 難所を越える! - 旅は骨折り  
11/2(水) → 2023/1/29(日)

■ 入館の際は、「マスクの着用」「検温」「手指の消毒」にご協力ください。(マスクの着用をされていない方の入館をお断りさせていただく場合がございます。)  
■ 混雑時は、入館を制限させていただく場合がございます。※催しの中止・延期・変更の可能性がありますのでご了承ください。